

タンパク質、カルシウムを多く含む栄養野菜です。自家菜園として野菜を作る時に参考にしていただければ幸いです。

1 栽培暦

月	10			11			12			1			2			3			4			5			
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
管	播	畑	播	ポ			防						防			追	茎	土	追			追			収
理	種	の	種	ッ			除						除			肥	の	寄	肥			肥			穫
	準	準		ト												除	せ								始
	備	備		苗												去	防								め
				植															除						

2 品 種 仁徳一寸、 陵西一寸、 三連

3 播種準備

堆肥は1 a 当たり 200 kg、苦土石灰を施用したあと、元肥の施肥量は、緩効性の化学肥料などを1 a 当たり成分量で窒素 0.7 kg、リン酸 0.7 kg、カリ 0.7 kg 程度とします。

リン酸が不足しているほ場では、元肥にリン酸を多く含む肥料を与えると耐寒性を高めます。

畝はベット幅 65cm、通路幅 85cm とします。特に排水の悪いところは高畝にします。

アブラムシによるウイルス病被害の軽減に白マルチ又はムシコン栽培を行なうときは畝間 105 ~ 120cm の高畝にします。

4 播 種

播種適期は 10 月中下旬です。直播栽培が一般的で直まきは 1cm ていどの深さになるように「おはぐろ」が水平ないし、下向きになるように 30cm ~ 45cm の間隔に 1 粒蒔きにします。

5 栽培管理

(1) 無効茎の除去：くず莢が増えるのを防止するため行ないますが、3 月以降になると分けつが盛んになるので、太く節間のつまった勢いの良い茎を 6 ~ 8 本残し、細長い茎は元から取り除きます。

(1) 土寄せ：3 月の彼岸近くなると茎葉が繁茂し倒伏しやすくなるので茎の除去後に株元に土を寄せるように行ないます。マルチ栽培は早めにマルチを除去し土寄せを行ないます。この際に根を切らないよう注意が必要です。

(3) 春の追肥：実の着きを良くするために肥料は速効的な化学肥料が良く、NK 化成 2 号などを少量ずつ施用して、根や茎を傷めないよう肥料が隠れる程度に丁寧に土寄せを行ないます。追肥時は、開花始め(3 月中旬頃)、着莢始め(4 月上旬頃)、莢肥大期(4 月下旬頃)に行います。

(4) 倒伏防止：株の周囲に支柱を立てて紐を張っておくと倒伏を防げます。

6 病害虫防除

赤色斑点病、さび病、輪紋病が発生しやすいので適宜、薬剤散布をします。

病害虫はアブラムシによるウイルス病が問題になります。生育初期と莢の肥大時期に防除します。